

いつもご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。  
2022年12月のFIJの活動内容や成果についてご報告します。

## ファクトチェックの認知・信頼向上に関する取組み

### ▶ファクトチェック・ナビの更新

12月は、16件の[ファクトチェック結果](#)、22件の[誤情報関連ニュース（リンク集）](#)を登録しました。  
沖縄タイムスのファクトチェック結果も過去にさかのぼって収録しました。  
これにより、登録対象は12メディアとなりました。

### ▶ファクトチェック通信（メールマガジン）の発行

12月23日に「NHK、BBCなどと偽情報対策で連携へ」のタイトルで発行、ほぼ同内容の[WEB版](#)も公開しました。

## メディア・企業・市民との連携に関する取組み

### ▶ファクトチェックフォーラム・公開ウェビナー「ヨーロッパの偽情報対策プロジェクトから何を学べるか」を開催

12月6日、[ファクトチェックフォーラムの公開ウェビナー](#)を開催し、ヨーロッパの偽情報対策に取り組むコンソーシアム・EDMO（the European Digital Media Observatory）を現地取材したジャーナリストの牧野洋さんから報告をいただきました。  
当日はメディア関係者や研究者など58名の方にご参加いただき、質疑応答も活発に交わされました。  
11月に来日したEDMOのミゲル・マドゥーロ会長との意見交換会の際に収録したインタビューもご紹介しました。（メディア掲載：[J-castニュース](#)）

欧州デジタルメディア観測所  
European Digital Media Observatory = EDMO

- EDMOは欧州全域を網羅する非営利団体
- 目的は「偽情報との戦い (Fight Against Disinformation)」
- 欧州連合 (EU) から完全に独立して運営される
- だから欧州大学院大学 (EUI) 内に本部を置く
- ただし、EUから過去2年半で250万ユーロ (3億5000万円) の財政支援を受けている

### ▶国連関係者との意見交換会

12月6日、来日したメリッサ・フレミング国連事務次長ら国連関係者と日本のファクトチェック団体、メディア関係者との間で、日本における誤・偽情報問題についての意見交換会が国連大学内で行われました。FIJの奥村信幸理事、古田大輔理

事、楊井人文理事・事務局長が参加し、日本のファクトチェックの現状や課題について報告や提言を行いました。（[お知らせ記事](#)）



国連広報センター提供 ©UNIC Tokyo/ Ichiro Mae

### ▶ 沖縄タイムスのFIJガイドライン活用メディア登録

沖縄タイムスが[FIJガイドライン活用メディア](#)として登録されました。これで登録メディア数は10となりました。

## ファクトチェック支援システムの運用

### ▶ 疑義言説の収集状況

疑義言説データベース[ClaimMonitor](#)の12月の新規登録件数は160件でした。一般からの情報提供は96件ありました。

## 理事の対外活動・メディア出演等

- 季刊「くらしと協同」[第42号](#)（2022年12月25日発行）に楊井理事の寄稿「ファクトチェックは公正な情報伝達に役立つか」が掲載されました。
- 産経新聞12月28日付朝刊の「メディア回顧（下）フェイク」に楊井理事のコメントとFIJの活動紹介が掲載されました。（産経ニュース[12月31日付有料記事](#)）
- インターネットの報道番組「ABEMA Prime」の[12月27日の放送](#)に古田理事が出演し、ファクトチェックの課題と今後についてコメントしました。

---

今後ともご注目・ご支援のほど、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。